

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名

長 崎 県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	小 浜 町 立 小 浜 小 学 校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	2	2	2	2	2	1	12	18
児童数	37	49	47	60	64	52	1	309	

研究の概要

1. 研究主題

基礎的・基本的な学力の向上, 定着を図る授業の実現
 ~個に応じた指導方法・指導体制の工夫と繰り返し学習の充実を通して~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・ 1, 2年国語
 今後の学習の基礎となる音読・発声, 表現力の基礎を身に付ける研究を行うため。
- ・ 2年・算数
 低学年ということで学習態度や学習規律等に個別の指導が必要な児童もあり, 併せて, 加減乗法など今後の学習の基礎となる学習内容が多いため。
- ・ 3, 4年・算数
 昨年度の2C3T(2学級を3名の教師が担当)から, 1C2Tにしてさらに少人数にしてきめ細かな指導をするため。
- ・ 5, 6年・算数
 児童の理解の状況に差が出やすい教科, 学年であるため。
- ・ 4, 5年, 6年・国語
 昨年度までの一部教科担任制に関する研究成果から, 実施学年の枠を広げ, より専門的な研究, 指導に取り組むため。

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 基礎的・基本的な学力の向上, 定着を図る授業の実現 ~個に応じた指導方法・指導体制の工夫と繰り返し学習の充実を通して~</p> <p>研究の内容・方法 ・少人数指導・習熟度別指導及び教科担任制の導入など指導体制の工夫と, 漢字や計算などの基礎学力の充実, 教材開発等を通して, 学力の向上を図る。 ・児童の学力を的確に把握し, 活用する。(CRT学力テスト・漢字の力の実態把握・個人カルテの作成など)</p>
--------	---

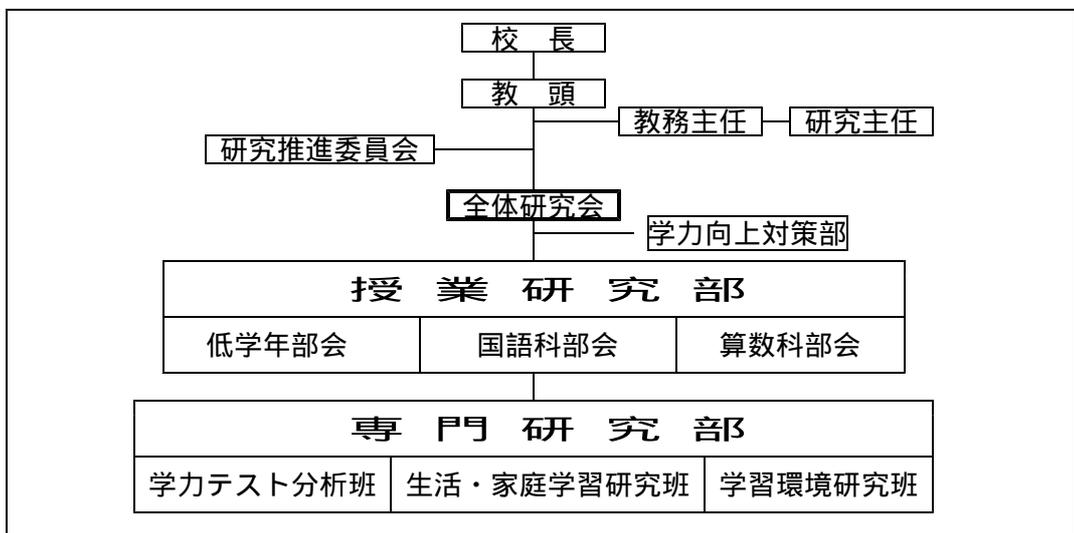
平成15年度	<p>テーマ 基礎的・基本的な学力の向上, 定着を図る授業の実現 ~個に応じた指導方法・指導体制の工夫と繰り返し学習の充実を通して~</p> <p>研究の内容・方法 ・少人数指導・習熟度別指導及び教科担任制の導入など指導体制の工夫と, 漢字や計算などの基礎学力の充実, 教材開発等を通して, 学力の向上を図る。</p>
--------	--

年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学力を的確に把握する。(CRT学力テスト・漢字の力の実態把握・個人カルテの作成など) ・専門研究部(生活家庭学習研究部・学力テスト研究部・学習環境研究部)の新設。(授業研究部とは別の視点での研究が必要なため) ・地域の人材を生かしたGTの活用。
--------	--

平 成 16 年 度	<p>テーマ (予定) 基礎的・基本的な学力の向上, 定着を図る授業の実現 ～個に応じた指導方法・指導体制の工夫と繰り返し学習の充実を通して～</p> <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで2ヶ年の取組実績をもとに, 個に応じた指導方法・指導体制の充実について研究を継続する。 ・個人の理解の状況をより詳細に把握するために, 「個人カルテ」を充実させる。 <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導の一層の充実 等質グループ指導や習熟度別指導を中心に行ってきたが, コース別指導・グループ別指導・課題別指導など多様な指導形態の研究を進め, 児童の興味関心を大切に, より個に応じた指導ができるよう工夫する。 ・一部教科担任制の深化, 拡充に向けて 現在, 同学年担任での国語科・算数科一部教科担任制を実施しているが, 小学生という発達段階を考慮しながら, より専門的な指導を進めるための教科担任制の在り方について。 ・個人の理解の状況をより把握するための「個人カルテ」の充実。 ・家庭学習・自学の取り組ませ方。
------------------------	--

* 平成15年度からの新規校については, 平成15, 16年度の計画について記入すること。

(3) 研究推進体制



《授業研究部》

低学年部会 「読み・書き・計算能力を定着させるための授業改善」

読み - 効果的な音読指導の工夫
書き - ひらがな・かたかな・漢字の定着の指導法
計算 - 計算能力を高めるための指導法
基礎的な学習規律の確立

国語科部会 「表現力を高めるための授業改善」

- 基礎学力(読む・書く・話す能力)の向上を目指して -

算数科部会 「個に応じた指導法の工夫と, 基礎的基本的学力の向上」

効果的な少人数指導のあり方
基礎的な計算技能の向上(低～中学年を中心に)
自分の考えを表現できる力の育成
発展的な学習

《専門研究部》

学力テスト分析班：昨年度2月実施の学力テストの分析。

分析を基にした教材開発。個人カルテの開発等。

生活・家庭学習研究班：昨年度実施の生活アンケートを基に、児童の生活改善、保護者への啓発。学力を高めるための家庭学習のあり方等。

学習環境研究班：学力向上のための校内(学級内も)環境の整備。
系統テスト等の学習プリントの整備等。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

1年次の成果を踏まえた研究・実践の継続

少人数指導・習熟度別指導の充実、一部教科担任制の拡充ができ、よりきめ細かな指導と専門的な指導ができた。

全国的な学力テストは2月実施予定のため、数値による昨年度との比較分析は今後行うが、日ごろの学習状況から、国語科では言語事項、算数科では数と計算領域及び図形領域で確実に向上してきている。

授業研究部会の充実

昨年度までの低・中・高学年部会から、低学年・国語科・算数科授業研究部会に変更。それぞれの教科の研究内容を充実させることができた。

専門研究部会の新設

生活家庭学習研究部(学習準備・規律の確立、家庭と連携して忘れ物をへらすことができた。)

学力テスト研究部(詳細な分析を行い、学年ごとの苦手領域を担当へ報告することにより、理解の状況をより詳細につかむことができた。)

学習環境研究部(校内の学習環境を充実させ、楽しみながら数や言葉への関心を高めることができた。)

児童の変容

- ・読み・書き・計算を中心とした基礎学力が向上してきた。
- ・わかるまでねばり強く努力するなど、学習意欲が向上した。
- ・単元の終末に「伝える」場を設定したことにより、表現力が向上してきた。
- ・児童の間にも、少人数学習・一部教科担任制が浸透した。

「2年次授業公開」を開催

2日間日程、ワークショップ形式(少人数グループ)による部会協議などを取り入れて、研究成果の報告と、活発な意見交換ができるよう工夫した。

2. 今後の課題

少人数指導の一層の充実

等質グループ指導や習熟度別指導を中心に行ってきたが、コース別指導・グループ別指導・課題別指導など多様な指導形態の研究を進め、児童の興味関心を大切にし、より個に応じた指導ができるよう工夫する。

一部教科担任制の深化、拡充に向けて

現在、同学年担任での国語科・算数科における一部教科担任制を実施しているが、小学生という発達段階を考慮しながら、より専門的な指導を進めるための教科担任制の在り方について改善していく。

個人の理解の状況をより把握するための「個人カルテ」の充実
家庭学習・自学の取り組ませ方

学力等把握のための学校としての取組

全国学力テスト 調査の目的	・観点別に習得状況を把握することにより、治療や補強を講じる資料にする。(児童一人一人) ・各観点別の判定出現率や一問ごとの通過率等を全国のそれと比較することにより、今後指導すべき具体的項目を把握する資料にする。(学年全体で) ・指導の成果を確認し、本年度研究の取組評価の資料にする。
実施内容 実施時期	教研式コンピュータシステム C R T 観点別到達度学力検査(国語・算数) 毎年度2月中旬～下旬
意識調査 調査の目的	・本校研究の内容に関すること及び、児童の生活等に関する意識調査を行うことにより、児童の学習等に関する意識を把握し、実践に生かすため。
実施内容	少人数指導・習熟度別指導等、理解の状況、教師の関わり方等の意識調査と、基本的生活習慣を中心とした生活調査。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

「授業公開」 日時：平成15年11月6(木)・7日(金) 場所：小浜町立小浜小学校 対象：長崎県下公立小中学校教員(一部県外)、教育事務所、学習指導カウンセラー事業担当文部科学教官教授 会の目的：フロンティア校としての研究内容の普及及び、本校研究に対して指導・助言をいただく。
「長崎県小学校教育課程協議会(国語科部会)」での発表 日時：平成15年8月1日(金) 場所：有明町総合文化会館 対象：島原教育事務所管内小学校教員 会の目的：フロンティア校としての研究内容の普及及び、本校研究に対して指導・助言をいただく。
HP作成：研究の概要をまとめたものを1～2ヶ月に1回更新。指導資料等をHP上からダウンロードできるように作成中。 リーフレット及び資料CDの作成・配付 フロンティアティーチャーとして、近隣校及び九州各県からの視察来校時に、研究内容の説明、資料の活用法の説明を通して情報提供を行っている。 地区校長会及び地区教務主任会等において、本校が行った習熟度別指導を参考にして実践中という学校や、本校が開発した教材等を活用している学校があるという報告を受けている。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無